

## ライフ・パラダイム研究会のご案内

初回は、待望の谷荘吉先生の登場です。谷先生は、アルフォンス・デーケン氏とともに日本に死生学（死に向き合い死までの生き方を考える学問）を定着させ、77歳の現在も現役のホスピス医として毎日勤務されています。

また、日本の医者と看護師の教育に影響を与えた故・中川米造先生が学会長を務めた日本保健医療行動科学会を一緒に支えてこられるなど、活動の幅広さはここで到底紹介し尽くせません。

“格差社会”“名ばかり管理職”などストレスに満ちている現代社会では、「心の病」とでもいえるような「精神的不安定状態」に陥っている人々が少なくないと危惧されており、今回はその処方箋をお話いただけます。日ごろ仕事に追われる企業人にとって、生き方のヒントになると思います。ぜひご参加ください。

ライフ・パラダイム研究会 事務局

記

テーマ： 「心豊かに感じ・考え・行動するための {雑学のすすめ}」

講師： 谷 荘 吉 氏 （小松病院 名誉ホスピス長）

ストレスが蔓延する現代社会では、「心の病」とでもいえるような「精神的不安定状態」に陥っている人々が多い。われわれビジネスマンは、この現代日本にどう向き合って生きていけばいいのでしょうか。谷先生は、「人生を考える」と言う抽象的なものではなく、今、生きるための「生活学」が最重要課題であり、人間「生まれて・生きて・死ぬ」と言う極めて、シンプルな自然の事柄を、どのように考察し、纏めるかの問題に収斂する、と結論される。

今回は、その具体的内容を直接伺えます。“明日への元気”につながります。

### ●講師プロフィール 谷 荘吉（たに しょうきち）氏

1931年生まれ。横浜市立大学医学部卒業。東京大学医学部助教授、金沢医科大学教授を歴任。現在、小松病院名誉院長・名誉ホスピス長。また、大阪・生と死を考える会・会長、日本ホスピス在宅ケア研究会顧問、日本保健医療行動科学会理事、日本葬送文化学会・会長等多数の要職にも就かれている。著書に『最新ホスピスQ&A100』（東京書籍）『C型肝炎はここまで治る！』（主婦の友社）等多数ある。

○日時：5月11日（日）13：30～15：00

○ 会場：自敬寺 大阪市淀川区西三国 2-12-43) 06-6391-5348

阪急・宝塚線「三国駅」徒歩10分。地下鉄「東三国駅」徒歩12分

◎参加費無料 事前の申し込みは必要ありません。直接、会場へお越しください。

●会場への案内地図は、下記の自敬寺ホームページのMAPをご参照ください。

<http://www2.gol.com/users/jikeiji/>

以 上